

と胸を張った。
しかしこの答弁が嘘だったのである。県を私と読み替えれば、だれが聞いても大田が直接デラムス委員長と話したと理解する。大田は県知事なのだから、県を私と読み替えて当然なのである。

しかし、仲松議員が「実は知事がデラムス委員長に直接会っていないという確かな情報があるが……」と、再度追及すると、「午前中に事務所を訪ね、補佐官に会っていろいろ話をした」「午後は体調を崩してホテルで寝ていたので、約束の時間に議会の都合で遅くなったデラムス委員長には会えなかった……」「さっき会ったといったじゃないか」「私が会ったというようなことを、そういうことじゃなくて……代表が行ったわけでありまして……」「これは私が要請するんじゃないんで一体として要請してありますから……」「何もそこを隠しはありませぬ」「最初の答弁で私という言葉は全く使っておりませぬけれども、そこに何らかの誤解を与えるような……」
と、大田は意味不明のことをしどろもどろにつぶやくばかりだった。

議会は二日間空転し、大田が陳謝して決着した。しかし、現地の基地問題要請団か

る景勝の地で、周りには戦跡公園が広がっている。

アイデアを「盗用」

ところがこの大田自慢の『平和の礎』は、アイデアの盗用だとして大田に真っ向から抗議する人物が現れたのである。私たちがこの人物に会って話を聞き、いつていることが本当かどうか慎重に調査してみた。調べてみればみるほど、彼の話を真実だと信じるに足るだけの証人や証拠が出てくるのだった。

彼の名を上原正稔という。友人たちにいわせると、正直で嘘のつけない人物だと口を揃える。上原は沖縄在住のドキュメンタリー作家で、沖縄戦や大琉球時代を描いた著作も多数ある。その上原が語る。

らは連日訪米の成果が、県に二ニュースリリスとして送られて来ており、それを見て沖縄の新聞は「知事の大戦果」を大々的に報じていた。そこにも大田がデラムス委員長に会って、直接要請したと読み取れるように書かれてあったから、新聞もその読者も大田のすり替えにはめられたことになる。キッシンジャー元国務長官とも、もともとアポイントを取っていなかったのではなにかとの疑いも持たれている。県の基地対策室が作成した要請団の訪米日程に、キッシンジャーとの会談は記されていないから、大田という人は直前になって、よく面談をスッポかす人ようだ。

「実は、その三年前にもアジアナ航空の沖縄進出の件で、大田が韓国を訪問したとき、日程にあったアジアナ航空社長との面談を代理のものに行かせ、相手の社長をカンカンに怒らせたことがあるんですよ。また、平成五年の一月には、東南アジア訪問の帰途台湾へ寄る予定でした。台湾の要人は、旧正月の休みにもかかわらず待っていてくれたようです。ところが大田はそれを電話一本で断って帰ってきてしまったんです」(与党の県議)

反戦の闘士大田が、もっとも高い評価を

「あれは九〇年(平成二年)の春でした。ぼくが親しくお付き合いをしていた米国の戦史家ロジャー・ピノー先生が沖縄戦で戦死したアメリカ兵の膨大なリストを送ってくれたんです。その年の六月、長い間あためてきた『沖縄戦メモリアル』構想を友人らとともに、発表したのです。これは沖縄戦で亡くなった沖縄住民、日本兵、アメリカ兵すべての氏名を集め、巨大な碑に刻むというもので、このような構想が明らかにされたのはこれが初めてでした。やがて具志頭村から土地の提供をしたという申し出があり、あとは戦没者の名前を集めるだけでした。アメリカ兵の名前は、引き続きピノー先生が集めてくださることになっており、日本兵の戦没者も各県の遺族会に連絡すれば集まるだろうと思っていました。問題は沖縄住民の戦没者リストをいかに

◆ 会議録・対談・講演などのカセットテープを迅速に文書化!!

録音テープ起こし

— 1時間テープ 2万5千円より —
 < 印字&フロッピーはサービスにて添付します >

◆ ワープロ文書作成もお受けしております!
 ☆ TELまたはFAXにて、資料を送迎いたします!

〒160 東京都新宿区西新宿7-10-12 ダイハンプビルデンス5F
TWS東京ワープロソサエティ
 TEL 03-3366-7650 FAX 03-3366-7626
 ◇ 英・独・仏・伊・中国語の「翻訳」もお受けします!
 “外国語テープ起こし”も可能です!

に集めるかだけだと思っていました。各字単位で中学、高校、大学生を動員して調査してもいいと考えていました。若い人が戦争を知るきっかけができるかもしれないとも考えました。それにしても県の協力がいると思いい、準備が整ったところで具志頭村長ら四人で就任したばかりの大田知事を県庁に訪ねました」

この時の様子を具志頭村の村長や上原に同行した村役場の役人から聞いてみよう。「お互い名刺を交換してから、村長が沖縄戦メモリアル建立について、具志頭村が受け皿となって万全を期して行きますので、ご配慮くださいというので、大田知事の様子はどうもおかしいのです。わたしらの話に耳を貸そうとせず、『私がやる。県政でやるから』といひだしました。『金がかかるし、あなたがたには出来ないだろう。あん

中公新書

最新刊発売中
定価各780円(税込)
● 奇数月25日発売

情報入手の時間とコストを削減する実践テクニックの全てを公開
パソコン情報検索術
 インターネットから電子辞書まで
 新たな教育のあり方を提言する、高度情報化時代の「エミール」
パソコン教育不平等論
 子供のために大人は何をすべきか

速水栄
 渋谷宏

● 既刊好評発売中
パソコンの買い方 柴田光祐
 初めての購入を決定する
Windows95の始め方 吉田圭
 10日間で完全マスターする
マルチメディアがNEC
オフィスを変える 吉川英

中央公論社
 〒104東京都中央区京橋2-8-7